

公益社団法人広陵町シルバー人材センター 令和6年度 事業報告

1. 事業概要

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症が経済に大きな影響があり、特に中小企業や自営業の方へのダメージが大きい中、インボイス制度のダメ押しで不景気に拍車が掛かり倒産等が増え更に円安の影響で原材料や物価の価格上昇が止まらず、唯一自給出来ていた米ですら価格が上がり一般国民には辛い年度になりました。国外ではロシアによるウクライナ侵攻の終わりが見えず原油高の一因にもなっており好転の気配が見えていません。

さて令和6年度のセンター事業ですが前年に引続き入会者の減少、既存会員、入会者の高齢化等の要因により就業会員不足となり請負ってもらえない仕事が増加し、そのため就業をお断りしなければならなくなったりと影響が出ています。

こうした状況の中、センターは請負事業として契約高240,272,158円（令和7年3月31日現在）と対前年比95.0%と減になっております。最低賃金の引き上げを加味しても減となっています。

派遣事業につきましては15件で契約高14,183,791円（令和7年3月31日現在）となり対前年比121%と増となっております。

会員数につきましては毎年伸び悩んでおり、前年度末から13名減の267名（令和6年3月31日現在）となっています。会員の平均年齢は76.5歳となっており0.2歳下がりましたが高齢化がかなり進んでいるのは間違いありません。

以上のとおり当シルバー人材センターでは会員の減少、会員高齢化を抑止するよう努めましたが、会員の減少は止められず、高齢化に関しては高齢会員の退会者が多かったため下がっただけと考えられます。

こうした状況の中、「安全就業及び健康はすべてに優先」「自主・自立・共働・共助」の事業理念を基に安全等に配慮しながら会員と役職員が一丸となってセンターの発展に努めました。

2. 会員の状況

令和6年度末の会員数（令和7年3月31日現在）

男 性 206名

女 性 61名

合 計 267名（前年度末より13名減）

平均年齢 76.5歳（前年度末0.2歳減）

3. 事業実施状況

(1) 会員の確保・拡大

シルバー事業の拡大を図るため、会員の確保に努め、また女性会員の増員に努めました。

継続70歳雇用の影響、また70歳を経過しての中小企業の延長雇用が増加しましたが、退会者の多くが高齢者であったため平均年齢は0.2歳下がりました。

- ① 「いち会員ひとり運動」の推進を図り、今年度も数名が入会し実績がありました。次年度以降も継続してまいります。
- ② 月2回定期的に入会説明会を開催し、センターとしての魅力等を説明し会員の入会促進を行いました。
- ③ 町広報誌に説明会の日程案内を毎月掲載し、入会への意欲を高めると共にHP（ホームページ）にセンターの概要等記載し入会を促しました。
また広報紙に会員募集のチラシを挟み込み入会者の増加を図り、一定の成果がありました。
- ④ 未就業会員への就業の斡旋により退会者の抑止と就業意欲の向上を行い、就業率アップと未就業者の退会を防ぐよう努めました。
- ⑤ 高齢で現行の作業を引退されても高齢者が就業出来るような作業を斡旋し、高齢者でも長く会員に在籍出来るよう（退会しないよう）努めました。
- ⑥ 女性会員の入会促進を目指して女性会員の増員に努めましたが増員には至りませんでした。
- ⑦ 奈良県シルバー人材センター協議会からの人材確保育成事業に協力し、会員の入会を促しましたが成果が得られませんでした。継続して育成事業に協力します。

(2) 配分金及び賃金契約額（受注件数1,857件 公・民含む）

前年度配分金契約高 172,115,717円

今年度配分金契約高 163,357,768円（前年比94.9%）

前年度派遣事業賃金契約高 9,497,966円

今年度派遣事業賃金契約高 11,139,400円（前年比117.2%）

(3) 安全・適正就業の推進

「安全就業及び健康はすべてに優先」を第一に考えKY（危険予知）と合わせ就業中の事故防止の徹底を行いました。

また、安全適正就業委員会、安全コンサルタントを中心に安全就業の徹底を図り未然に就業事故、通勤途上時の事故等防ぐように努めました。

- ① 年2回安全適正就業委員会の開催をし、事故防止について協議をおこない事故防止につながるよう周知しました。
- ② 年2回安全パトロールをし、違反行為には指導を徹底し安全就業等に努めました。
- ③ 安全コンサルタントによる現場への見回り指導、年2回安全講習の開催をし、会員自身の安全への自覚を促し「事故ゼロ」を目標に努めましたが、車両事故、物損事故及び傷害事故が起こり目標が達成出来ませんでした。
- ④ 奈良県森林組合講師による機械の構造や使用方法及び安全に対する講習を行いメンテナンス等を会員自身で出来るよう知識を高めてもらいました。
- ⑤ ワークシェアリングの徹底を行わなければならないが、人材不足のためワークシェアリングを行うと作業が滞るため出来ませんでした。適正就業を意識して事業運営に励みました。
- ⑦ シルバー人材センターは会員の健康維持が目的のひとつとなっていますので80歳以上の会員に健康診断書の提出、怪我や病気の就業復帰の際に診断書の提出をしていただき、自身の健康状態を把握し、体調にあった復帰や働き方をしていただきました。

(4) ボランティア活動の促進

「全国シルバーボランティアの日」に清掃ボランティアを行う予定でしたが、町の行事と重なったため今年度は中止にしました。来年度からは時期をずらして開催し社会参加、地域貢献とともにセンターのPRを行いたい。

(5) 普及啓発の推進

シルバー事業への信頼と理解が得られるよう、一般家庭・民間事業所等に対して事業の意義と基本的な理念及びしくみ等を周知するとともに高齢者に対する意識啓発を行い発注や会員の入会への促進になりました。

- ① 毎月、町広報を通じて入会説明会の案内や各種講習、イベント等を告知してシルバーの入会やPR等を行いました。

- ② HP（ホームページ）にシルバーのPRを掲載し、会員の就業の確保に努めました。
- ③ 町広報に入会募集のチラシを挟み込んで町民に周知し入会に繋げるよう努め効果もあり、次年度も行う予定です。

（６）家事援助・子育て支援事業の推進

高齢者が長年培ってきた豊かな経験と知識を活用し、女性の活躍を推進するための就業分野の拡大に努めました。

（７）デジタル化の推進

N T T ドコモの協力を得てスマホの初心者講習を開催して会員がシステムの使用を利用したり、アプリのインストールが出来るよう努め、成果を上げており来年度も開催する予定です。

（８）職業紹介の推進

雇用契約での就業希望の方はハローワークとの情報交換による協力に努め、臨時的・短期的な就業及びその他の軽易な就業を希望される高齢者の入会促進に努めましたが企業からの求人がなかったため実績はありませんでした。

（９）関係機関との調整

広陵町シルバー人材センターのあらゆる事業運営を円滑に推進するため、全国シルバー人材センター事業協会、及び奈良県シルバー人材センター協議会との連絡を密にし、奈良県、広陵町及び各種団体との協調を図り連携の強化に努めます。

(10) 安全就業及び技能講習等の開催及び参加状況

講 習 内 容	実 施 年 月 日	実 施 場 所	参 加 人 数
草刈・チェーンソー 仕組み・安全講習	令和6年8月22日	大会議室（剪定・草刈班・除草班等） （緊急応援・チップ班・丘陵公園等）	各班2名 30人
安全講習	令和7年2月19日	大会議室	各班2名 21人
		大会議室	各班2名 3人
	令和7年2月20日	大会議室	各班2名 8人
		大会議室	各班2名 5人
派遣会員 教育訓練	令和7年3月12日	大会議室 派遣会員	派遣会員11人
	令和7年3月13日	大会議室 派遣会員	派遣会員3人
		大会議室 派遣会員	派遣会員5人

(11) 会議等の開催状況

会 議 名	開催年月日	議 題
監 査	令和6年4月23日	○令和5年度収支決算監査
第1回理事会	令和6年5月1日	○会員の入会（案）について ○令和5年度第3次収支補正予算について（専決済） ○令和5年度事業報告（案）について ○令和5年度収支決算報告（案）及び監査報告について ○第45回通常総会の開催日程・議案（案）について ○事務所横駐車場改修工事について ○会員の退会について（報告事項） ○代表理事の職務執行について（報告事項）
第45回 通常総会	令和6年5月29日	○令和5年度事業報告（案）について ○令和5年度収支決算報告（案）及び監査報告について ○令和6年度事業計画について ○令和6年度収支予算について
第2回 みなし理事会	令和6年5月31日	○会員の入会（案）について ○会員の退会について（報告事項）
第3回 みなし理事会	令和6年6月28日	○会員の入会（案）について ○令和6年度第1次収支補正予算（案）について
第4回 みなし理事会	令和6年9月30日	○会員の入会（案）について
第5回 みなし理事会	令和6年10月31日	○会員の入会（案）について ○令和6年度第2次収支補正予算（案）について
第6回 みなし理事会	令和6年12月26日	○特定資産取崩しについて ○令和6年度第3次収支補正予算（案）について
第7回 みなし理事会	令和7年1月31日	○会員の入会（案）について ○会員の退会について（報告事項）
第8回理事会	令和7年2月26日	○令和7年度事業計画（案）について ○令和7年度収支予算（案）について ○令和7年度資金調達及び施設投資の見込み（案）について ○令和7年度役員賠償責任保険加入について ○令和7・8年度理事・監事選考委員承認について ○令和6年度第4次収支補正予算（案）について ○代表理事の職務執行について（報告事項） ○総会の開催方法について（その他事項）

第9回 みなし理事会	令和7年3月31日	○会員の入会（案）について
---------------	-----------	---------------

(12) 関係機関との調整

広陵町シルバー人材センターのあらゆる事業運営を円滑に推進するため、全国シルバー人材センター事業協会、奈良県シルバー人材センター協議会及び奈良県、広陵町、ハローワーク等各種団体との連携の強化に努めました。